



2026年3月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（連結）

2025年11月12日

上場会社名 株式会社山大 上場取引所 東
コード番号 7426 URL <https://www.yamadai.com>
代表者 （役職名）代表取締役社長 （氏名）高橋 暢介
問合せ先責任者 （役職名）管理部部長 （氏名）加藤 誠 TEL 0225-93-1111
半期報告書提出予定日 2025年11月13日 配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無：無
決算説明会開催の有無：無

（百万円未満切捨て）

1. 2026年3月期第2四半期（中間期）の連結業績（2025年4月1日～2025年9月30日）

（1）連結経営成績（累計）

（％表示は、対前年中間期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 中間純利益	
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％
2026年3月期中間期	2,016	—	△164	—	△160	—	△161	—
2025年3月期中間期	—	—	—	—	—	—	—	—

（注）包括利益 2026年3月期中間期 △158百万円（－％） 2025年3月期中間期 ー百万円（－％）

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期中間期	△145.82	—
2025年3月期中間期	—	—

（注）潜在株式調整後1株当たり四半期純利益につきましては、潜在株式が存在しないため記載しておりません。また、2025年3月期第3四半期より四半期連結財務諸表を作成しているため、2025年3月期の数値及び対前年同四半期増減率は記載しておりません。

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	％
2026年3月期中間期	4,605	1,976	42.9
2025年3月期	5,212	2,156	41.4

（参考）自己資本 2026年3月期中間期 1,976百万円 2025年3月期 2,156百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年3月期	—	0.00	—	20.00	20.00
2026年3月期	—	0.00	—	—	—
2026年3月期（予想）	—	—	—	30.00	30.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2026年3月期の連結業績予想（2025年4月1日～2026年3月31日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％	円 銭
通期	4,492	8.6	△404	—	△393	—	△397	—	△357.86

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当中間期における連結範囲の重要な変更：無

新規 ー社 (社名) ー、除外 ー社 (社名) ー

(2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

2026年3月期中間期	1,187,368株	2025年3月期	1,187,368株
-------------	------------	----------	------------

② 期末自己株式数

2026年3月期中間期	76,529株	2025年3月期	76,529株
-------------	---------	----------	---------

③ 期中平均株式数 (中間期)

2026年3月期中間期	1,110,839株	2025年3月期中間期	1,110,839株
-------------	------------	-------------	------------

※ 第2四半期 (中間期) 決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、業績予想に関する事項は添付資料P. 3「1. 経営成績等の概況 (2) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当中間期の経営成績及び財政状態の概況	2
(2) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 中間連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 中間連結貸借対照表	4
(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書	6
中間連結損益計算書	6
中間連結包括利益計算書	7
(3) 中間連結財務諸表に関する注記事項	8
(セグメント情報等の注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(継続企業の前提に関する注記)	8

1. 経営成績等の概況

（1）当中間期の経営成績及び財政状態の概況

当社グループは、2025年3月期第3四半期連結会計期間より中間連結財務諸表を作成しているため、前中間連結会計期間との比較分析は行っておりません。

当中間連結会計期間における我が国経済は、個人消費の回復、インバウンド需要の拡大等により景気は緩やかに回復していますが、米国の関税政策に対する不確実性、ロシア・ウクライナや中東の不安定な国際情勢の長期化、物価上昇等より、依然として不透明な状況が続いております。

住宅建築業界におきましては、物価の高騰等により新設住宅着工戸数は軟調に推移しております。また、ウクライナ、中東の不安定な国際情勢の長期化等による資源価格等の高騰などにより、先行きは不透明な状況が続いております。

このような状況のもとで、改正木材利用促進法（脱炭素社会の実現に資する等のための建築物等における木材の利用の促進に関する法律）が2021年10月1日に施行され、対象が民間建築物や中高層建築物を含む「建築物一般」に拡大されたこと、更に地球上で唯一の循環資源である木材を生かして「持続可能な開発目標 SDGs」の実現に貢献していくことを宣言いたしました。私たちは、「木材の温もりと笑顔あふれる社会」を目指し、非住宅建築の木造化を推進し、地産地消の認証木材や合板木材（クリーンウッド法）使用による森林保護や高性能住宅により二酸化炭素の排出量を抑制し、地球温暖化防止へ貢献してまいります。

住宅資材事業では、プレカット受注を営業戦略の柱として、建材・住設・エクステリア等のトータル受注を目指してまいりました。また、製材工場ウッド・ミルのブランドであります国産人工乾燥杉製材品「宮城の伊達な杉」の更なる普及に向け、「宮城の伊達な杉の家を創る会」と連携し販売を推進しました。

建設事業では、「杉とともに300年 確かな技術が届けるこちよい暮らし」をコンセプトに植林から製材、建築、アフターサービスまでトータルに手掛けており、宮城県産の「宮城の伊達な杉」を使用した骨組みを採用しています。地産地消の最高ブランドである材料と技術で人と人が創り上げていく住まいを販売してまいりました。

この結果、当中間連結会計期間の業績は、売上高2,016百万円、営業損失164百万円、経常損失160百万円、親会社株主に帰属する中間純損失161百万円となりました。

なお、セグメントごとの経営業績は、次のとおりであります。（各セグメントの売上高は、外部顧客に対するものであります。）

ア. 住宅資材事業

大型木造物件と地域に根ざした営業展開を図るため地場工務店に対する営業活動に注力しましたが、物価の高騰等により新設住宅着工戸数は軟調に推移し、また、原油等の資源価格の高騰や仕入資材等の価格の高騰等により、売上高1,399百万円、営業損失37百万円となりました。

イ. 建設事業

注文住宅等の競争が厳しく、売上高580百万円、営業損失19百万円となりました。

ウ. 賃貸事業

賃貸事業は、売上高35百万円、営業利益23百万円となりました。

財政状態は次のとおりであります。

ア. 資産

当中間会計期間末の資産は、4,605百万円となりました。その主な内訳は、現金及び預金704百万円、土地1,890百万円であります。

イ. 負債

当中間会計期間末の負債は2,628百万円となりました。その主な内訳は、電子記録債務338百万円、長期借入金959百万円であります。

ウ. 純資産

当中間会計期間末の純資産は1,976百万円となりました。その主な内訳は、資本金1,103百万円、利益剰余金674百万円であります。

（2）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2025年11月11日に公表いたしました通期の業績予想につきましては、現在のところ変更ありません。

なお、当該業績予想は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいて行ったものであります。今後、経営環境の変化等により、当社の業績に影響を及ぼす可能性が生じた場合は、適切に開示してまいります。

2. 中間連結財務諸表及び主な注記

(1) 中間連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当中間連結会計期間 (2025年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,233,531	704,175
受取手形及び売掛金	455,221	366,553
電子記録債権	24,984	38,429
完成工事未収入金等	126,009	11,119
商品及び製品	207,837	252,523
仕掛品	160,920	165,825
原材料及び貯蔵品	102,495	155,690
販売用土地建物	387,417	360,599
未成工事支出金	2,031	7,474
その他	27,860	30,327
貸倒引当金	△330	△220
流動資産合計	2,727,980	2,092,497
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物 (純額)	189,431	187,773
機械装置及び運搬具 (純額)	465	3,347
土地	1,890,397	1,890,397
その他 (純額)	234,395	256,110
有形固定資産合計	2,314,689	2,337,628
無形固定資産		
のれん	16,867	15,092
その他	1,842	3,923
無形固定資産合計	18,710	19,015
投資その他の資産	151,416	156,128
固定資産合計	2,484,817	2,512,773
資産合計	5,212,797	4,605,270
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	272,802	203,088
電子記録債務	479,918	338,200
工事未払金	186,528	73,209
短期借入金	195,000	217,000
1年内返済予定の長期借入金	272,100	263,580
未払法人税等	5,104	4,363
賞与引当金	17,976	18,636
完成工事補償引当金	4,330	3,870
その他	177,628	180,268
流動負債合計	1,611,388	1,302,215
固定負債		
長期借入金	1,088,206	959,406
退職給付に係る負債	207,901	214,002
資産除去債務	5,000	5,000
その他	143,579	148,205
固定負債合計	1,444,686	1,326,614
負債合計	3,056,075	2,628,830

(単位: 千円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当中間連結会計期間 (2025年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,103,184	1,103,184
資本剰余金	97,927	97,927
利益剰余金	858,920	674,724
自己株式	△54,312	△54,312
株主資本合計	2,005,718	1,821,522
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	10,792	14,705
土地再評価差額金	140,211	140,211
その他の包括利益累計額合計	151,003	154,916
純資産合計	2,156,722	1,976,439
負債純資産合計	5,212,797	4,605,270

(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書
(中間連結損益計算書)

(単位: 千円)

	当中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)
売上高	2,016,066
売上原価	1,777,381
売上総利益	238,685
販売費及び一般管理費	
貸倒引当金繰入額	△130
給与手当	139,046
賞与引当金繰入額	8,113
退職給付費用	4,713
その他	251,158
販売費及び一般管理費合計	402,902
営業損失 (△)	△164,217
営業外収益	
受取利息	500
受取配当金	1,650
受取助成金	1,138
仕入割引	2,282
その他	5,405
営業外収益合計	10,976
営業外費用	
支払利息	6,647
その他	490
営業外費用合計	7,138
経常損失 (△)	△160,379
税金等調整前中間純損失 (△)	△160,379
法人税、住民税及び事業税	1,951
法人税等調整額	△351
法人税等合計	1,599
中間純損失 (△)	△161,979
非支配株主に帰属する中間純損失 (△)	—
親会社株主に帰属する中間純損失 (△)	△161,979

(中間連結包括利益計算書)

(単位：千円)

当中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)	
中間純損失 (△)	△161,979
その他の包括利益	
その他有価証券評価差額金	3,912
その他の包括利益合計	3,912
中間包括利益	△158,066
(内訳)	
親会社株主に係る中間包括利益	△158,066
非支配株主に係る中間包括利益	—

(3) 中間連結財務諸表に関する注記事項

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

当中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	中間連結 損益計算書 計上額
	住宅資材事業	建設事業	賃貸事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	1,399,817	580,824	35,424	2,016,066	—	2,016,066
セグメント間の内部売上高 又は振替高	49,577	—	—	49,577	△49,577	—
計	1,449,394	580,824	35,424	2,065,643	△49,577	2,016,066
セグメント利益又は損失 (△)	△37,324	△19,055	23,062	△33,317	△130,900	△164,217

(注) 1. セグメント利益又は損失 (△) の調整額△130,900千円は全社費用 (主に報告セグメントに帰属しない一般管理費等) であります。

2. セグメント利益又は損失 (△) は、中間連結損益計算書の営業損失と一致しております。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。